



主体性を育てていくには

前号で紹介しました『自主学習』を、どのように感じられますか。子どもが自分で勉強するなんて、そんな甘いこと言うても…との声が聞こえてきそうです。ですが、振り返ってみてください。誰かにしなさいと言われるから、しなければペナルティーがあるから、しなければ怒鳴られるから、そうやってすることは楽しいですか。ましてやそれが「学習」であればどうでしょう。新しいことを知る、やってみる、できるようになるのは、いくつになっても楽しいことなのですが。

管理職になって、毎年1年生の教室で目の当たりにするのは、学ぶ楽しさに目を輝かす姿です。毎時間が発見と驚き、そして、わかったやできたという喜びの連続です。ひらがなやカタカナ、そのうち漢字が読めるようになり、書けるようになる。数量を数字で表し、そのやり取りを計算で考える。これまでの生活経験を生かす。歌い演奏し、聞く。絵や形、色で表す。様々に体を動かす。人としての心の有り様をみんなで考える。どの授業も楽しそうです。ここで身に付けていく学力を確かにすると同時に、それらを活用して自分の興味や関心を広げ深めていく力を育むのが『自主学習』です。

する・しないが自由なのではなく、何をするかが自由（自分で選べられる）なのが自主学習です。

■授業から（9/17：火）

① **1年；道徳** 登場人物の気持ちを考えて、みんなの前で言う。「やさしくしてくれて、ありがとう。これからはぼくも、みんなにやさしくするよ」クマさんのセリフが、それを言う自分の言葉になります。

② **2年；道徳** 約束の時間に来ない友達を心配するメール「おそいよ!」。これだと、どんな風に伝わるのかを考えました。使う道具がデジタルになっても、まず、相手を思う気持ちを大切にします。

③ **3年；算数** あまりのあるわり算のたしかめ算。「『 $30 \div 7 = 4$ あまり2』のたしかめ算は『割る数×商+あまり』だから、『 $4 \times 7 + 2 = 30$ 』』と言葉で説明できると、わり算がより深く分かります。

毎日の、年間約1000回の授業での学びを、広げ深めて活用する力へと育て参りましょう。

※ 明日は1～2校時、運動会予行演習です。今夜はゆっくり休み、朝食をとっての登校をよろしくお願いいたします。体調等、ご不安な点があるときはご連絡ください。

